

QRコードを読み取っていただくとホームページを見ることができます。小値賀小情報を様々に発信中です！



小値賀っ子だより

小値賀町立小値賀小学校 QR



スマートフォンからはこちら



「島から日本一楽しい学校を」 令和5年2月1日発行 第12号 校長 小川 広孝

やさしさのバトン

早いもので今日から2月に入りました。令和4年度も、残り35日となります。少し早いと思われるかも知れませんが、現段階で私自身、この1年間を振り返ってみました。

毎朝、校門のところに立っていると「おはようございます。」とあいさつしてくれる子がいます。廊下で会ったときに手を振ってくれる子がいます。授業を観に行つてふと目が合うと、ニコッと微笑んでくれる子がいます。このような子供一人一人のさりげない行動に、私はどれだけ救われたか分かりません。悩むことや心配になること、落ち込んでしまうこともありましたが、子供たちからもらった多くの「やさしさ」のおかげで、気持ちがとっても軽くなりました。私は、このような「やさしさ」をバトンのように、次の人やこれからにつなげていこうと思っています。自分が受け取ったやさしさを、小さなやさしさを必ずつないでいきます。

昨日の持久走大会で子供たちが見せてくれた「あきらめない心」をもって、しっかりとバトンをつなげるよう頑張ります。では、今月もよろしくお願いいたします。

新しいタブレット登場！

先月から、タブレット端末が chromebook (クロームブック) に新しくなりました。私たち教職員も研修を受け、早く使いこなせるようになろうと頑張っているところです。さて、近頃は『タブレットは自ら学びを深める新しい文房具』と言われています。鉛筆、消しゴム、はさみ等と並び、タブレットも今や特別な道具ではなく、これからは文房具の一つです。現行の学習指導要領では、「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけています。つまり、コンピュータ等の情報手段を適切に用いることを、読んだり書いたりするのと同じように、どの教科でも必要不可欠な能力であるとしています。20年前には想像できなかった教室の風景が今、目の前に広がっています。子供たちは、タブレットを用いて、プレゼン資料や文章の作成のみならず、自分の考えを教師に提出したり教師からの課題を簡単に受け取ったりしています。私たちは、子供たちが世の中に大きく羽ばたき活躍する20年後の世の中に思いを馳せながら教育を進めなければならないといつも思っています。コンピュータが加速度的に発達するであろう未来では、知識量が多いことは何の自慢にもならないのでしょうか。いろいろな情報をどのように結びつけて、どのように活用し、どのように世の中に生かしていくか…そのことに重きがおかれることは間違いありません。小値賀小学校でも、先を見通して、しっかりと教育の歩みを続けて参ります。

